

事業所名：山佐産業株式会社

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針等>

～山佐産業株式会社はISOのマネジメントを実践することで「SDGs」に貢献します～
 我が社の創業理念「郷土が誇る企業をつくる」のもと、2011年から取り組んでいるISO(品質・環境・労働安全)のマネジメントの継続実施、ICT活用、DXの推進、働き方改革を進め、持続可能な開発目標(SDGs)に貢献することで、地域社会に求められる存在になることを目指します。

<今期のSDGsに関する重点的な取組、指標及び実績>

三側面	取組の状況	前期の指標	実績
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	持続可能な「環境配慮型の建設現場」を実現する。	ISO マネジメント実施で2025年度に「エネルギー・原材料等の持続可能な資源利用率」を50%達成を目標に環境保護を推進する。	令和7年度ISO審査において品質・環境・労働安全の継続認証取得。ISO マネジメント実施での「エネルギー・原材料等の持続可能な資源利用率」について公共工事はリサイクル材利用や低燃費建機利用促進等により100%達成。民間工事については50%の達成率にとどまった。
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	持続可能な社会の実現に向けた技術開発推進の為に、全ての技能者の持続的な技術の継承発展を実現する	CCUSを2022年度導入率30%を、2025年度内に100%運用に向け、環境整備・支援を実施する。	公共・民間工事25件中21件(84%)の現場においてCCUSの運用を実施した。4件未実施物件については、端末機器の操作不慣れ等により施工体制台帳登録が未完了状態となっており就労記録が登録ができていなかった。
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	「地域守り」企業として、組織のレジリエンス確立に向けたBCP(事業継続計画)を推進する。	2025年度内に政府が推奨する『国土強靱化貢献団体認証』レジリエンス認証を取得する。	令和4年度に続き、令和6年度BCP認証新規(2回目)を取得。併せて関連会社(有)外西建業も令和7年度BCP認証を取得。レジリエンス認証は管理会社である山佐ホールディングス(株)にてグループの取組みとして取得する方針となったため取得には至らなかった。2025年度内にはグループ全社にてBCP認証を取得しレジリエンス認証取得を目指す方針である。

・「取組の状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組の実施状況やと指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

<今期の評価>

全現場において SDGs の幟や看板を掲げるとともに、現場毎の目標を掲示し、社員・取引業者の意識の浸透に努めた。また可能な限り、「再生資材」を活用、建設機械も「環境配慮型」を利用するなど、ISO 目標を達成するとともに、SDGS に貢献する「環境配慮型」の現場運用ができた。

また各現場・事務所にて発生するリサイクル紙の「トイレトペーパー再生化」やゴミ分別でのペットボトルキャップ収集での「ワクチン(NPO 法人)支援活動」実施など、各現場においても可能な身近にできる活動にも目を向ける事ができた。

また、全ての社員及び家族の心身の健康を第一として、皆が明るく元気で、豊かな未来につながる健康経営を行うことで、郷土の一人一人が誇れる企業づくりを目指し健康経営優良法人認定を取得した。今後も、サステナブルな事業活動を目指した事業を行うとともに、地球環境(災害発生)を中心とした社会環境の大きな変化に対し、「地域守り」企業として、地域の方々の安心・安全・快適な暮らしを守るべく事業活動に取り組んでまいります。

- ・ SDGsの取組全体について、今期の振り返りや来期の展望などを記載してください。

<次期の SDGs 達成に向けての重点的な取組, 及び指標>

三側面	SDGs に関する重点的な取組	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	持続可能な「環境配慮型の建設現場」を実現する。	ISO マネジメント実施で 2028 年度に「エネルギー・原材料等の持続可能な資源利用率」85%達成を目標に環境保護を推進する。
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	持続可能な社会の実現や生産性向上、働き方改革・健康経営を推し進めるべく改革を実施する。	ICT の活用、DX 技術導入による生産性の向上、建設ディレクター育成により現場の完全 4 週 8 休の 100%実施を目指す。
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	「地域守り」企業として、組織のレジリエンス確立に向けた BCP(事業継続計画)を推進する。	グループ全社一丸となり BCP の訓練や研修実施により、意義浸透につとめ 2028 年度までに『国土強靱化貢献団体認証』レジリエンス認証を取得する。

- ・ 「SDGs に関する重点的な取組」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・ 「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。

<SDGs達成に向けてのパートナーシップ>

- ・ 「パートナーシップ」には、企業や NPO 法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。